

# 市長と共に語る 地区懇談会

市長と共に語る「地区懇談会」が6月21日、太田地区を皮切りにスタートしました。

この懇談会は、行政と市民が一体となった協働のまちづくりを進めるため、市内13か所で直接皆さまからの意見・提言などをお聞きし、市政に反映させるために行っているものです。

今回は、麻生地区の懇談会の主な内容について紹介します。



## 麻生地区

### 天王崎地区の再整備について

天王崎地区の再整備とは、どのようなものですか。

天王崎の再整備については、芝を張り、その先に砂浜をつくるプランを、国土交通省に要望しながら進めています。市としては、白帆荘の跡地や白帆の湯の活用も含めて天王崎開発構想の策定に着手し、どのようにしたら市民の楽しめる場所になるか、外から客が来る場所になるかを話し合っています。また、天王崎周辺の方々や、広く市民の方々の意見を聞きながら、進めています。

天王崎駐車場先の芝生に、高齢者のレクリエーション施設として、常設のグラウンドゴルフ設置を希望します。

グラウンドゴルフ愛好者の皆様には、いつも練習場所の除草作業にご協力いただき、ありがとうございます。

天王崎公園は、防災ヘリコプターやドクターヘリコプターの緊急時の避難、着陸場所に指定されています。また、公園は公共の場所ですから、常設のグ

ラウンドゴルフ場は一部の利用者の使用となるので、設置は難しい状況です。常設や全面的な使用ではなく、半分程度の面積を、定期的に使用していただき、芝生の保護や一般利用者への配慮をお願いします。

天王崎の再整備計画で、お客が集まれば素晴らしいと思いますが、その周辺は、第一種低層住居専用地域であり、建築の制限を受けています。天王崎に客を呼びたくても、貸しポートや土産屋を開くこともできません。

今年度、各界各層からの団体の長や学識経験者による、都市計画マスタープランの策定委員会を作ります。この問題も会議の中で話し合っていきたいと考えています。

### 行政改革の取り組みについて

市の財政の中でも、人件費が一番かかると思うので、資料にある計画よりも、早く職員数を減らしてはどうですか。

今の三庁舎体制で行政を運営しているのは、職員の削減は難しいのが実情です。給食センターの民間委託や白帆荘の閉鎖など、できることから経費削減の改革を進めています。

職員数については、来年度より団塊の世代が定年に入りますし、退職の勧奨制度もあるため、予定より多い退職数を予想しています。

### 学校等の適正配置について

児童、生徒数は、今後さらに減っていくことと思うが、そのような事態に上手に対応した先進事例を手本に、検討してほしい。

適正化配置計画の審議会で、先進地で携わった方に来ていただくことを考えております。行方市では小学校18校のうち、100人以下が11校、複式学級を編制しているのが3校あります。財政が厳しい中ではありますが、児童、生徒を中心と考えた適正配置計画を策定していきたいと思っています。現在、策定委員会を公募しており、今後、学校区などで説明会を開き、市民と協働で、学区等の見直しも視野に入れた計画を策定したいと思っています。

### 道路や排水整備について

麻生地区は道路や排水の整備が必要など多いので、財政難とは思いますが、早急な対応を望みます。

道路整備関係では、現在、市全体で228路線、麻生地区だけでも99路線の要望が出ています。しかし、今年度の道路に関する予算は昨年の半分に削減されており、全員のご要望に応えることはなかなかできません。皆様のご理解とご協力をお願いします。

出席者人数  
(麻生地区)

| 月日   | 地区名 | 人数  |
|------|-----|-----|
| 6/21 | 太田  | 9   |
| 6/22 | 麻生  | 42  |
| 6/25 | 大和  | 36  |
| 6/29 | 小高  | 16  |
| 7/2  | 行方  | 21  |
| 合計   |     | 124 |